

# 「さらに活力ある学校・家庭・地域をめざした取組へ」

～ふるさと協育ネット「ほっちゃや」の取組～

【下関市 長府中学校区】

## 地域の概要

長府中学校区には、仲哀天皇の行宮である「豊浦宮」の跡とされる「忌宮神社」、長府毛利藩の居住であった「串崎城跡」や高杉晋作が挙兵したいわゆる「回転義挙」の地「功山寺」などがあり、城下町としての面影を残しています。一方、海岸沿いには工場が立ち並び、近代的な要素もあります。

校区は広く、バスを利用して通学する小学生もいます。

人口	16,317 人	
世帯数	7,406 世帯	
対象校及び	長府中学校	477 人
児童生徒数	豊浦小学校	939 人

## 組織の内容

長府中学校区では地域住民が小・中学校を支援するため、平成 20 年度に、長府地区学校支援地域本部事業に取り組み、「ほっちゃや」を活動拠点として設置しました。昨年度からは、市の事業名が「ふるさと下関協育ネット事業」に変更されたことに伴い、「長府地区ふるさと協育ネット『ほっちゃや』」として活動を継続しています。

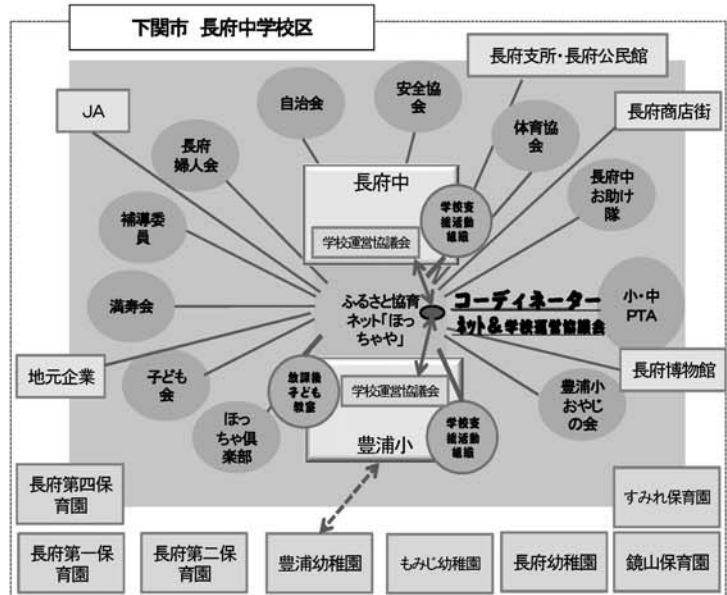
「ほっちゃや」では、活動の推進母体として地域協議会を設け、年 3 回程度協議会を開催しています。委員は学校関係者をはじめ、自治会長、婦人会長、青少年補導委員、敬老会長、児童委員、体育協会長、市役所支所長等で構成され、支援活動の計画立案や新たな活動の提案をしています。コーディネーターは、元 PTA 役員で、地域の様々な方とのつながりを持ち、事業の核として、また、「ほっちゃや」の原動力として活躍しています。

これまで長府中学校と豊浦小学校に対して様々な支援を行ってきましたが、平成 22 年度から放課後支援として小学生を対象に金曜日の放課後に「ほっちゃや広場」を実施しています。

また、支援ボランティア「ほっちゃーず」の有志による文化振興ボランティアサークル「ほっちゃ倶楽部」が、地域において子ども向けのイベントを開催したり、大人の演奏家を交えて子どもたちが出演するコンサートを開催したりするなど、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制を整えています。

学校支援地域本部事業を開始してから 5 年目を迎えますが、PTAをはじめ自治会、婦人会など地域との連携体制の構築に力を入れてきた結果、ボランティアによる学校支援だけでなく、学校と地域の双方向の取組、幼保・小・中間での取組、長府地域の他の小・中・高を交えての取組、学校と地域が協働した取組が行われるまでになりました。また、長府中学校の保護者とそのOBやOGの有志によるボランティア団体「長府中おたすけ隊」と豊浦小学校の保護者と教職員の有志で構成されている「豊浦小おやじの会」は、地域の清掃活動やイベントの手伝いなどに積極的に参加するなど、地域の活性化に一役買っています。

子どもたちが育つ学校・家庭・地域がますます元気で活力あるものになるよう、「ほっちゃや」はこれからも取組を着実に発展させていきます。



ネット協議会の構成	学校関係者	9 名
	地域団体関係者	10 名
	PTA関係者	2 名
	自治体関係者	1 名
コーディネーター数	1 名	
登録ボランティア数	315 名	